

# おばなざわ



未来へつなぐ  
聖火の「魂」

令和3年

7月



No.838

目次

- 2 … 東京2020オリンピック聖火リレー尾花沢市通過
- 7 … トピックス / 10 … おばなざわ日記 / 12 … みんなのページ
- 14 … お知らせ / 16 … おばなざわ事典

①薬師如来(右側)と十二神将(左側)。木製のため、損傷が激しく、触るとぼろっと崩れそうです。



②お薬師様を納めているお堂も一緒に引っ越しします。



③運ぶために分解して汚れを払い、梱包します。



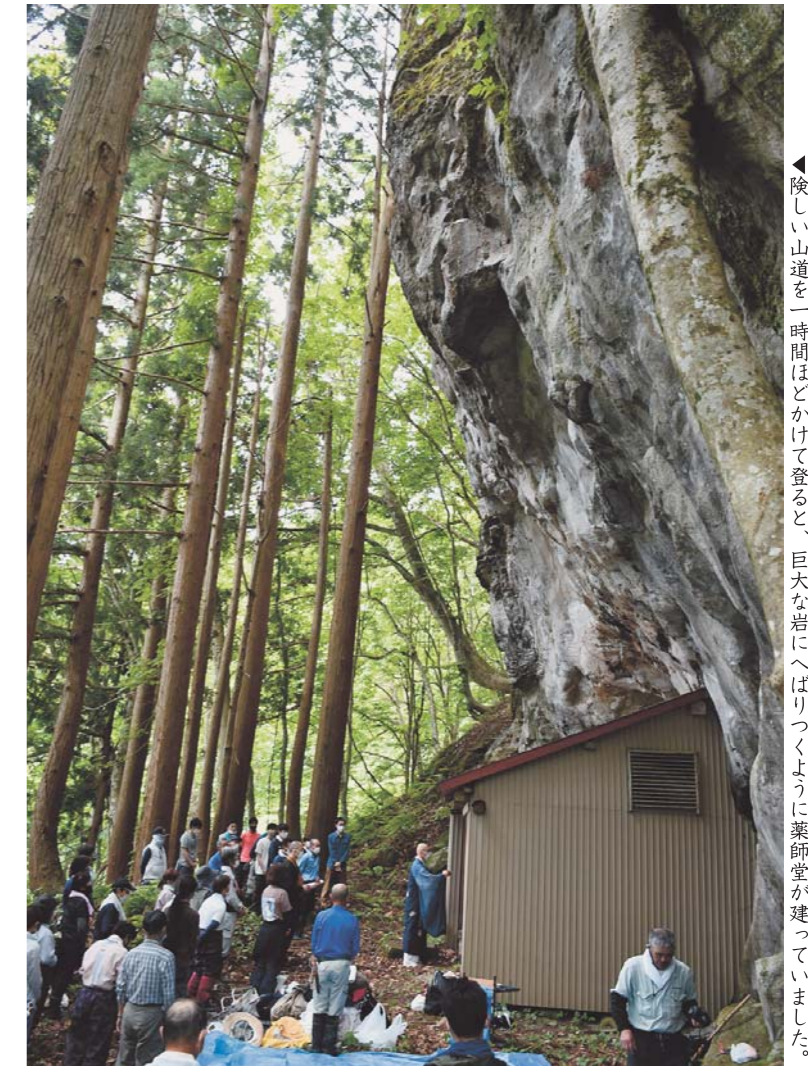
④分解・梱包した仏像などを皆で手分けして背負い、転げ落ちそうな下り坂を慎重に運んで無事下山。



**い**おばなざわ**わ**事典  
**い**お薬師様**の**  
**い**お引越**し**

岩谷沢集落から車で15分、さらに約1時間ほど山道を登った先にそびえる巨大な岩。その下に祭られている「岩谷大権現薬師堂」を岩谷沢の住民は「お薬師様」と呼んで昔から守り、管理してきました。しかし、集落の過疎・高齢化で、住宅地から遠く離れた山奥のお薬師様を管理することが難しくなったため、6月6日、総勢38人が山に入り、岩谷沢公民館に引っ越しすることになりました。

岩谷沢の守り神として昔から住民が大切にしてきたものを後世に継承し、地域の文化財を守っていくと住民が話し合っ



▲険しい山道を一時間ほどかけて登ると、巨大な岩にへばりつくように薬師堂が建っていました。

市の人口と世帯

	7月1日 現在	前月比
男	7,460人	(-14)
女	7,677人	(-3)
計	15,137人	(-17)
世帯数	5,379戸	(-4)

先月中の動き (届出件数)	
出生 ……	2人
死亡 ……	27人
転入 ……	22人
転出 ……	14人
婚姻 ……	2組

表紙

未来へつなぐ聖火の「魂」

6月7日、東京2020オリンピック聖火リレーが尾花沢にやってきました。1964年に開催された東京オリンピックの聖火リレーでも本市を通過しており、57年ぶりの大きな出来事です。

それぞれの思いを胸に、聖火をつないだランナーたち。聖火が夢・希望・平和の願いと共にその時代を生きる人々の「魂」を受け継ぎ、また次の時代へとつながっていくことを願います。(2021年6月7日 聖火リレー尾花沢市通過)

## 市内を駆け抜けたランナーたち



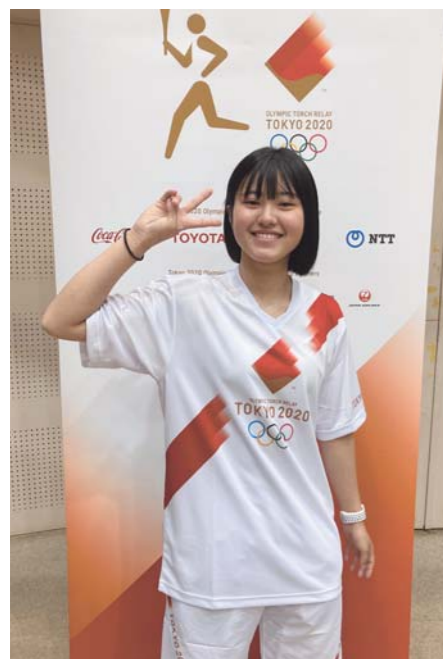
尾花沢市から出場した2人のランナーが聖火の火を受け渡してポーズ！

### ～尾花沢市から出場した2人の聖火ランナーにインタビュー～

#### 第1区ランナー

かんとう ひろし  
菅藤 弘さん(新町2・料理店みやこ店主)

1980年に開催されたモスクワオリンピックのボクシング日本代表選手として、ハードな練習を積み重ねていましたが、日本の不参加により出場がかなわなくなり、それ以来ずっとオリンピックにわだかまりを感じてきました。今回縁あって聖火を持って走る機会を得て、当時試合で一緒に戦った仲間や各国の選手たちへ、ずっと言えなかった感謝の気持ちを伝えられ、わだかまりも60%くらい晴れた気分です。残りの40%は、やはりもっと世界の選手たちと戦ってみたいかっという心残りがありますが、今回モスクワで使用したはずだったシューズを履き、自分が見つけない聖火の火があこがれの聖火台へと届けられることで、今活躍している若い選手たちに自分の思いを託したいと思います。



#### 第2区ランナー

おおば ゆさき  
大場 友咲さん(寺内2・新庄北高校3年)

私はクロスカントリースキーが盛んな地元尾花沢で、ずっとスキーをしてきました。最近はスキー離れが目立ち、スキー人口が減っているようですが、後輩たちにこの競技を引き継ぎ、生まれ育った尾花沢というまちに恩返しをしたいと思い、聖火ランナーとして走らせていただきました。

私はクロスカントリースキー競技でオリンピックに出場することが夢であり、今回はサポート側として東京オリンピックに関われたことをうれしく思います。

明るい話題が少ない時代ですが、私が走ったことで一人でも多くの方が笑顔になってくれたらうれしいです。

## 東京2020オリンピック聖火リレー 尾花沢市にやって来た！



6月7日(月)、東京2020オリンピック聖火リレーが尾花沢市を通過。市役所を出発して大道寺児童公園(北町)までの約1.7km・8区間を8人のランナーが聖火を手を駆け抜けました。スタート地点となった市役所東側駐車場では、リレー開始前にミニセレブレーションを開催。尾花沢中学校吹奏楽部の演奏や源流花笠踊り保存会による花笠踊りが披露された後、第1区ランナーを務める菅藤弘さん(新町2)の持つトーチに点火され、聖火リレーがスタート。尾花沢市・大石田町から選ばれたサポートランナー総勢20人と共に庁舎の周りを走りました。

その後沿道に出ると、第2区のランナーである大場友咲さん(寺内2)とトーチキスを行い、聖火をつなぎました。

会場となった市役所駐車場や北町までの沿道には、平日の昼間にも関わらず大勢の観客が駆け付け、ランナーに拍手をしたり旗を振ったりしてエールを送りました。

### 聖火リレーミニセレブレーション(オープニング)



源流花笠踊り保存会による花笠踊り披露



会場に響き渡った尾花沢中学校吹奏楽部の演奏



尾花沢市から出場した第1区ランナー菅藤さんのトーチに火が灯され、市内での聖火リレーがスタート！



聖火ランナーを一目見ようと詰め掛けた観客たち

# 聖火リレーを盛り上げた沿道の応援

トーチキスポイント(聖火ランナーの交代地点)では、野尻太鼓や霧山太鼓、尾花沢まつりばやしなどの演奏で会場を盛り上げました。

また、新型コロナウイルス感染防止対策のため、大きな声での応援ができない中での開催となりましたが、沿道には市内幼・保育園、小・中学校の皆さんや一般の方々が大勢駆け付け、市役所から大道寺公園(北町)までの約1.7kmを駆け抜ける聖火ランナーたちに、メッセージカードを持ったり、拍手や旗を振ったりして精一杯の応援を送りました。



57年ぶりの日本での聖火リレーで、太鼓が叩けて良かった。いい経験になりました。

聖火リレーを見るのは初めてで感動しました。オリンピックが無事開催できると良いですね。

人生で一度きりだと思う聖火を見られた。いいものを見ることができた。

高齢の方が走っていてすごかった。一瞬だったけど見られてうれしかった。

つなげよう 聖火を!

祝 大場友咲

# 聖火リレーに参加したサポートランナーたち

～ 聖火ランナーと一緒に 1区コースを伴走 ～



やはぎ なほ  
**矢作 菜穂さん**  
(尾花沢小・6年)  
人生で初めてのイベントでサポートランナーとして走れて楽しかった。



はらだ りょう  
**原田 僚くん**  
(福原小・6年)  
自分が選ばれたのは意外だったが、走って楽しかった。



やすの せな  
**安野 世那さん**  
(宮沢小・6年)  
初めて走って緊張したが楽しかった。



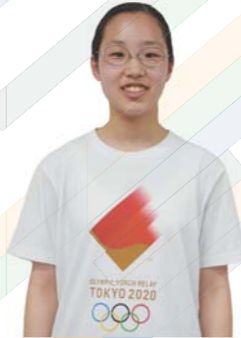
おりはら けんし  
**折原 謙心くん**  
(玉野小・6年)  
初めてのランナーとしていい経験になった。大きいイベントでびっくりした。



きど かなこ  
**木戸 奏子さん**  
(玉野小・6年)  
初めての経験だったが、とても楽しく走れた。



ながさわ ゆみ  
**永沢 由美さん**  
(常盤小・6年)  
聖火を間近で見られて楽しかった。



とよしま めい  
**豊島 芽生さん**  
(尾花沢中・3年)  
あつという間だったが、貴重な経験をさせてもらった。



おちあい もも  
**落合 杏さん**  
(福原中・3年)  
サポートランナーとして走って楽しかった。



すずきとしひと  
**鈴木 俊仁さん**(荒橋)  
たかはしかずゆき  
**高橋 和幸さん**(ヘルパー)  
最高! 出られてラッキー。絆駅伝のメンバーと一緒にだったので心強かった。絆駅伝で走る機会ももらったが、聖火リレーでも叶えてもらうれしい。いつもお世話になっているヘルパーの高橋さんと一緒に出られたのもよかった。



ふじい ゆたか  
**藤井 豊さん**(芦沢2)  
ランナーで応募したが落選。こういった企画で思いがけず声をかけてもらい、楽しかった。緊張せず楽しく走れて思い出になった。



いのうえとしひろ  
**井上 稔拓さん**(正殿1)  
みうらりゅういち  
**三浦 龍一さん**(ヘルパー)  
緊張したけど楽しかった。同級生のヘルパーと一緒に走れたのでよかった。



オリンピックの熱気と興奮をパラリンピックにつなぐため、全国の市町村から「火」を集め、パラリンピック聖火リレーの火とする全国のイベント「聖火フェスティバル」。本市では上の畑焼の窯の火を採火します。

トピックス  
**TOPICS 1**  
パラリンピック  
メモリアル手形作成

東京2020パラリンピック聖火リレーの火として、上の畑焼の窯から採火します。その「希望の火」を使い、市内の幼稚園・保育園の年長児と、小学校6年、中学校3年を対象に、「メモリアル手形」を作成することになりました。

メモリアル手形作成は、上の畑焼の地元にある玉野小学校からスタート。6月1日、6年生12人が伊藤瓢堂先生の指導を受けながら、メッセージ入りの手形を作成しました。長方形の薄い粘土に自分の手形を写し、「希望」「夢」「笑」「優つれ」など好きな言葉を鉛筆で彫つてこの日は終了。8月15日に開催される「採火式」で火入れし、焼き上げる予定です。

「自分たちで採ってきた石が粘土になって、手形まで作った思いがパラリンピックにも伝わっていくといい」と話す子どもたち。

オリンピック・パラリンピックに一人ひとりが携わったことが心に刻まれる、特別な卒業・卒園の思い出づくりができました。

尾花沢市パラリンピック  
聖火フェスティバル  
**「採火式」開催**

市の伝統工芸であり、復興40周年を迎える「上の畑焼」の窯入れの火を採火し、パラリンピック聖火リレーの「火」につなぎます。

- ・開催日／8月15日(日)
  - ・時間／午後3時
  - ・場所／上の畑焼陶芸センター
- ※また、市内幼・保育園、小・中学校で作成した「メモリアル手形」の窯入れも同時に行います。
- ◆社会教育課生涯学習係【内線325】

尾花沢中学校で今年度進めている「SDGsと尾花沢～夢を語ろう 自分の未来 地域の未来～」をテーマにした学習。

このテーマを題材に、1年生はSDGs11番目の目標「住み続けられるまちづくりを」に焦点を当て、自分たちができるまちづくりを考えるため、地域おこし協力隊久保田さんの講演会を開催しました。

トピックス  
**TOPICS 2**  
尾花沢中学校1年生  
SDGs学習の講演会

尾花沢の良いところを県外から尾花沢市にやって来た人から学ぼうと、地域おこし協力隊の久保田文さん(宮城県より移住)を講師に迎え、6月15日に講演会を開催しました。

講演では、久保田さんが尾花沢に移住することになったきっかけや、地域おこし協力隊の活動内容、久保田さんから見た尾花沢の魅力などを写真を交えながら紹介。「自分のまちに住んでいると良さが見えないうちが、若いうちからいろんなことに興味を持つたり、自分の考えと違うことも理解しようとする気持ちを持つことが大事。いろんな所に行つて経験して、それを自分のふるさとに活かして欲しい」とアドバイスしました。

生徒たちは、この講演で学んだことを今後の授業でまとめ、「住み続けられるまちづくり」をさらに考えていきます。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
**GOALS**



▲メモを取りながら久保田さんの話に真剣に聞き入る生徒たち。「尾花沢に来て学んだことは?」「市に初めて訪ねて来たときどう思いましたか?」など質問も飛び出しました。

57年前の記憶とともに受け継がれる **聖火の魂**



▲昭和39年5月に完成した大道寺児童公園。入口に造られたオリンピックモチーフのゲートが、聖火リレーを本市に迎える喜びを物語る。



▲現在のゲート。当初コンクリートで造られたようだが、その後取り外しができるタイプに変更されている。



▲東京2020オリンピック聖火リレーで再び聖火がやって来た大道寺児童公園。市内での聖火リレーゴール地点となった。

北町の大道寺児童公園入口に設置されているオリンピックマークのゲートをご存知ですか?

1964年(昭和39年)に開催された東京オリンピックの聖火リレーで、尾花沢市は聖火の停泊地に選ばれました。9月26日、舟形町から尾花沢市へと入った聖火は、12人の正走者と264人の随走者たちにより、当時完成したばかりの大道寺児童公園へ到着。公園では聖火を迎える式典が行われ、公園内に設置された純白の聖火台に点火されて一夜を明かしました。

また、公園の北側にある市民会館(昭和38年9月完成・現在の旧市民会館)では、「聖火を迎える市民の夕べ」が催され、尾花沢雅楽や尾花沢祭ばやしの演奏、中学生の合唱などが披露され、聖火一泊を市民総出で歓迎したようです。

あれから57年。2021年開催の東京2020オリンピックによる聖火リレーが尾花沢市を通過することになり、大道寺児童公園は尾花沢での聖火リレーのゴール地点として再び聖火を迎えることになりました。6月7日、市役所で点火された聖火は、8人のランナーで火をつなぎながら公園に到着。ゴール地点のセレモニーでは大石田中学校吹奏楽部の演奏で迎えられ、聖火は次のリレー会場へと引き継がれていきました。

大道寺児童公園に設置されているオリンピックモチーフのゲートは、この地が1964年東京オリンピックでの聖火の火をつないだ記憶を受け継ぐシンボルとなっています。



◀公園内に設置された聖火台。